

ご利用案内

通常放映日時＝土・日・祝日

通常放映時間・内容(4月～6月)

11:00(幼児～小学生向け)	13:30(小～中学生向け)	15:00(高校生～大人向け)
たいようくんとおつきちゃん	おとめ座物語	3Dプラネタリウムへの招待
ポケットモンスター XY 宇宙の破片	ポケットモンスター XY 宇宙の破片	1秒ちょっと前の月
ほしのおはなし(星空解説)	星空解説	星空解説

※ご希望による放映も行います。事前予約が必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

観覧料

高校生以上(個人)	510円
高校生以上 (団体20名以上)	410円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート1枚につき、
高校生以上1名無料

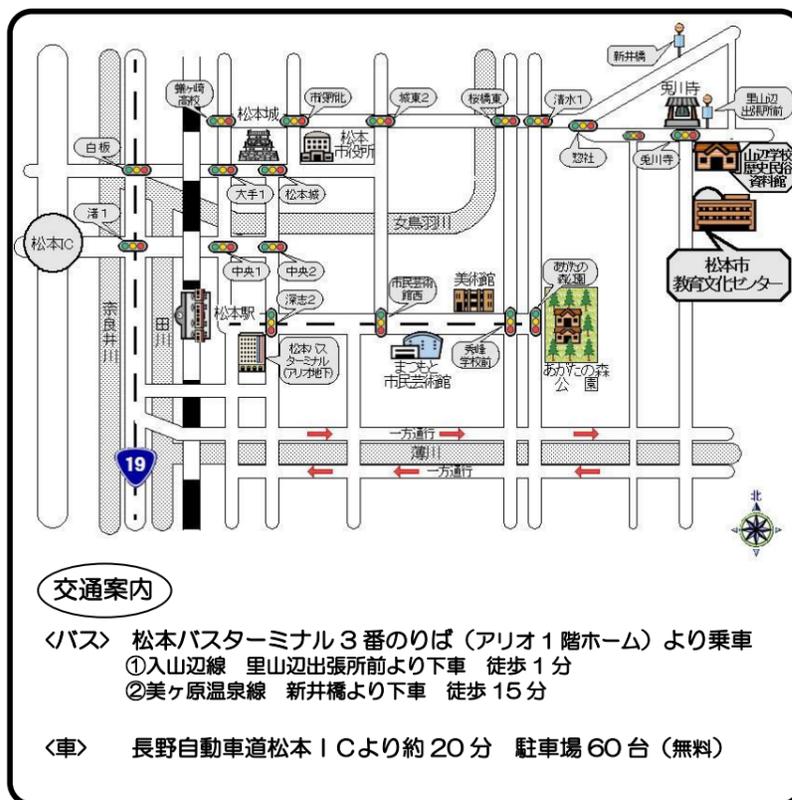
☆転入世帯優待券1枚につき、
1世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、
本人とその介助者1名無料

☆市内在住70歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

アクセス



交通案内

〈バス〉 松本バスターミナル3番のりば(アリオ1階ホーム)より乗車
①入山辺線 里山辺出張所前より下車 徒歩1分
②美ヶ原温泉線 新井橋より下車 徒歩15分

〈車〉 長野自動車道松本ICより約20分 駐車場60台(無料)

松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604

E-mail:kyoubun@city.matsumoto.nagano.jp

☆☆ 星空音楽館企画委員募集 ☆☆

当センターで行われる「星空音楽館」の企画委員を募集しています。
企画の参加・プラネタリウムで流す音源の選定・当日の受付などを行います。
興味のある方は是非ご連絡ください。

☆ 教育文化センター プラネタリウム通信 ☆

ほしみる

No.23 2015.5.1

俊足の使者・水星

今回は惑星の1つである水星の特集です。太陽系の中でも特に動きが素早いのが特徴です。また、太陽にとっても近いので、目にする機会が少ない惑星でもあります。

水星とは？

太陽の周りを回る天体(太陽系)の1つで、最も太陽の近くを回る惑星です。とても小さくて軽い天体で、直径は月のわずか1.4倍です。岩石でできていて、表面がクレーターで覆われています。

1日(日が昇って沈み、再び昇るまで)の長さが176日と惑星の中で1番長いのに、1年の長さが88日と1番短い。また、昼夜の温度差が大きく、昼は400℃以上、夜はマイナス180℃以下となります。

ギリシャ神話では伝令の神ヘルメスと同一視されていました。

水星のクレーター

クレーターとは、ある天体に他の小天体が衝突することでできる円形の窪地のことです。多くの天体に存在し、地球以外にあるクレーターには天体ごとにテーマに沿った名前がつけられ、その命名は国際天文学連合が行います。

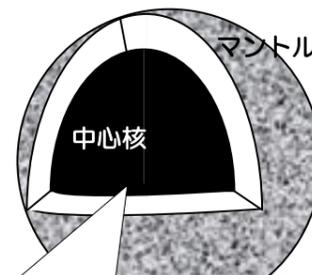
水星の場合は芸術家や音楽家、作家から名付けられます。水星最大の盆地は「ベートーヴェン」といい、音楽家のベートーヴェンから命名されました。

日本人の名前が付いたクレーターもあり、有名な人物としては、葛飾北斎、紫式部、夏目漱石などがあります。

水星探査

現在までに多くの探査機が太陽系の惑星の調査を行いましたが、水星は探査回数が非常に少なく、また探査機が着陸に成功をしたことがありません。マリナー10号とメッセンジャーという2つの探査機だけが水星への接近に成功しています。メッセンジャーは2011年に水星の軌道に突入し、現在も運用中です。

水星の探査が難しい理由として、水星は太陽に近いため重力の影響が強く着陸のために大きなエネルギーが必要であること、太陽からの膨大な熱への対策、公転速度が速いため高い推力を確保しなくてはならない点などがあります。



水星は月と大きさがあまり変わらないのに、重さは月の10倍もあります。そのため、中心核が巨大な金属でできていると考えられています。

水星の見どころ

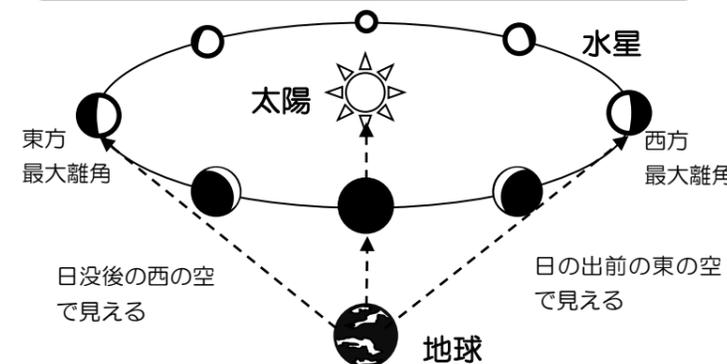
5月7日に東方最大離角を迎え、今年最高の見頃となります。

5月上旬～中旬にかけては日が沈んだ直後の西の空に出現し、高さもあるので観測しやすくなります。

5月下旬は太陽に近づき観測が難しくなりますが、6月25日に西方最大離角を迎え、日の出前の東の空で見られるようになります。

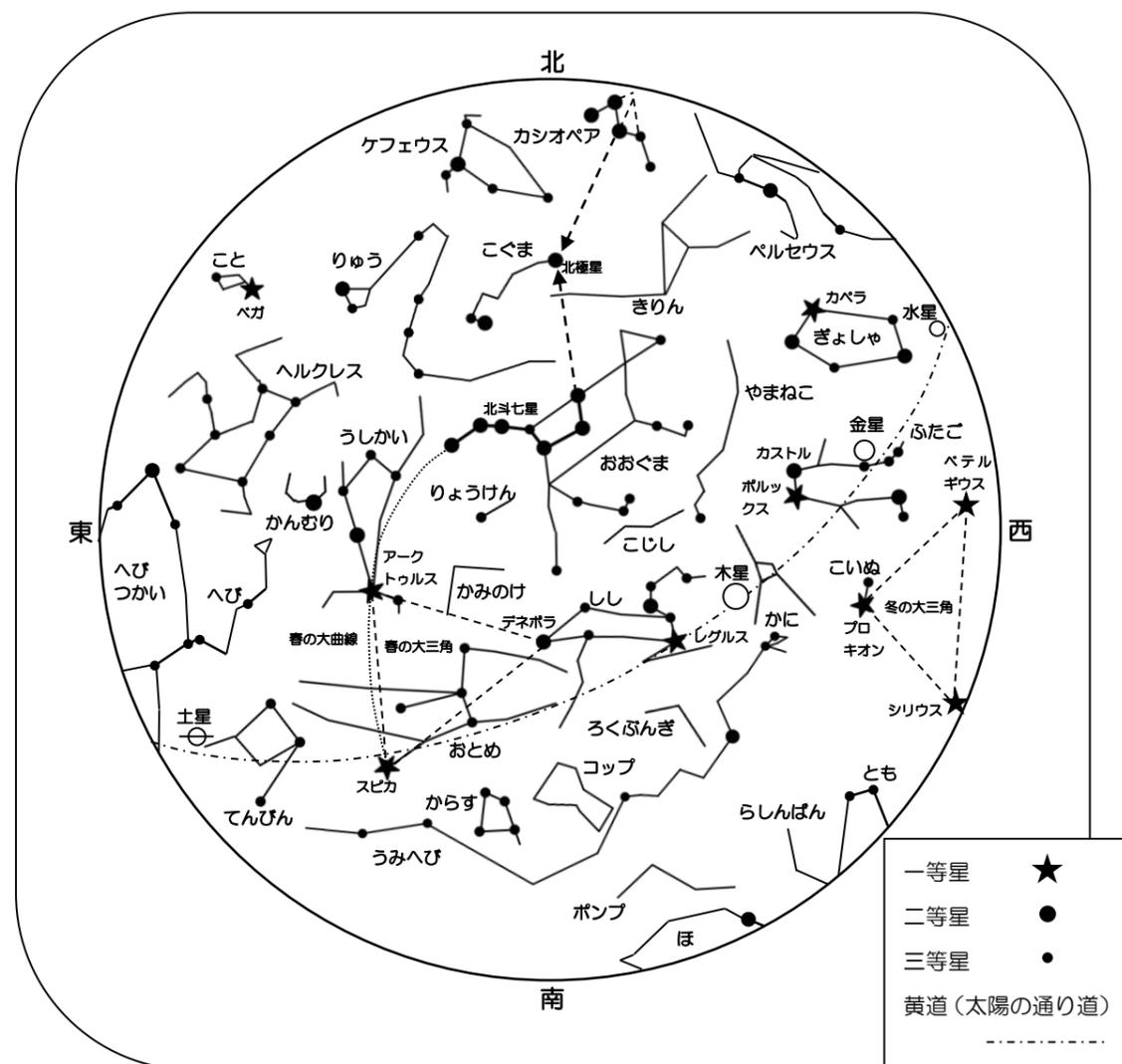
今年の後半以降は高度が低いことが多く、観測が難しくなります。

最大離角の時は地球から見て太陽から最も離れているため、高度が高く太陽の光に邪魔をされることが少なくなり、観測の好機となります。



季節の星空

5月15日20時頃の松本の星空



5月の主な天文情報

- 1(金) 水星とおうし座のプレアデス星団が接近
- 4(月) 満月
- 5(火) 月と土星が大接近
- 6(水) 月が土星の北を通る、みずがめ座 η 流星群が極大(出現期間 4/25~5/20)
- 7(木) 水星が東方最大離角
- 18(月) 新月
- 22(金) 月が金星の南を通る
- 23(土) 土星がてんびん座で衝
- 24(日) 月が木星の南を通る

★
 きょくだい
極大→天体の活動が最も活発になること。流星群の場合は、最も多く流星が現れる期間を指します。

★
 とうほうさいだいいりかく
東方最大離角→地球から見て、内惑星が太陽から東へ最も離れて見える角度です。地上からは、日没直後の西の空で惑星が見えます。

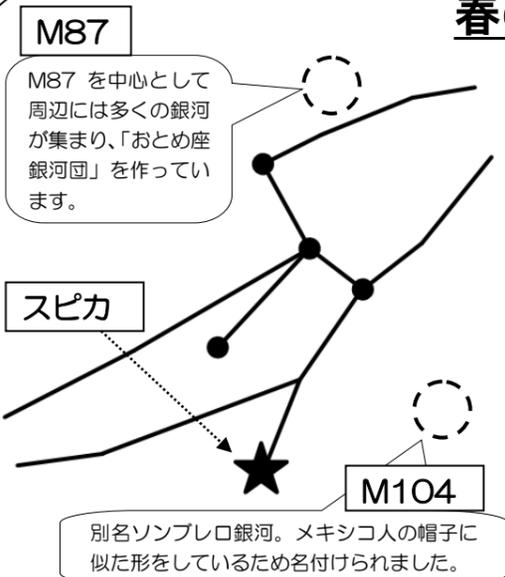
★
 しょう
衝→外惑星が地球を挟んで太陽と正反対の位置になること。このとき惑星はほぼ一晩中観測ができ、大きく明るく見えます。

☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

- 5/10(日) **☆太陽観測** 9:00~10:15
 天体望遠鏡を使って、太陽のプロミネンスや黒点を観測します。専用のフィルターを使用し、安全に観測できます。
 (天候不順で観測ができない場合はプラネタリウムをご覧ください。)
 受付開始:5/3(日) 8:30より 定員:15人(小学生以上)
- 5/23(土) **☆星空ステージ** 15:00~
 フルート奏者の桂聰子さんによる生演奏を、プラネタリウムの星空の下でお楽しみいただきます。
 申し込み不要。当日先着90名。
- 5/30(土) **☆星空音楽館** 15:00~
 プラネタリウムで星空を見ながら音楽を鑑賞しましょう。
 今回は、「花」や「春」にちなんだ曲を中心にお楽しみいただきます。
 申し込み不要。当日先着90人。

※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

春の夜空の乙女



春の星空に目を向けると、おとめ座とその1等星のスピカが輝いているのがわかります。
 おとめ座は、全天にある88の星座のうち、3つしかない女性の星座の1つです。
 おとめ座は大地の女神デーメテル、もしくはその1人娘のペルセポネーの姿と言われています。ペルセポネーが冥府の国の王ハデスに連れ去られ、1人娘を失ったデーメテルの悲しみから冬が生まれ四季ができた話はとても有名です。当プラネタリウムでも現在、13:30の回で放映を行っていますので、ぜひご鑑賞ください。

もうひとつ、おとめ座を正義と天文の女神アストライアとする物語があります。かつて神々と人間がともに地上で暮らしていた時代、アストライアは人々に正義について教えていました。人々は平和に暮らしていましたが、地上に四季が生まれ、文明が発達すると、やがて欲が生まれ、争いを起こすようになりました。アストライアは人々に正義を訴え続けましたが、最後には人間に失望し、天に上っておとめ座となったと言われています。
 また、その隣にあるてんびん座はアストライアが善悪を測るために使った天秤であると伝えられています。